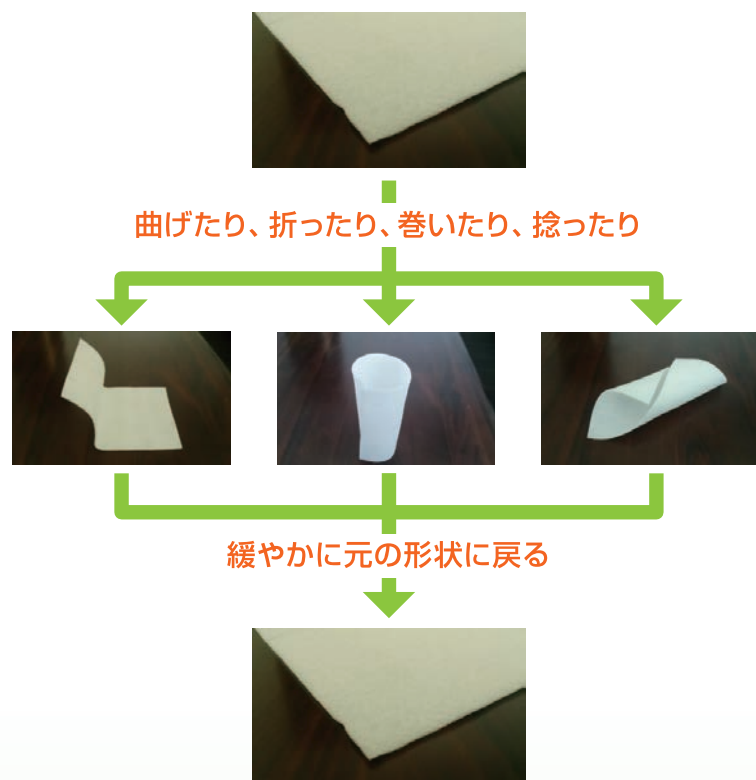


形状記憶シート(開発品)

開発の狙い 常温で柔軟性があり、変形させると、その形状を時間的に保持するユニークな特性を生かし、各種用途へ展開したい

開発進捗 1. アイデア段階 2. 試作・実験段階 3. 開発完了段階 4. 製品化完了

製品の概要 構造・原理・特徴



適性用途例

- 座席シート
- ハンドル
- シューズ部材
- 寝具
- 玩具
- アパレル素材
- 保護具
- サポーター
- 各種包装資材

キーワード

- 応力吸収・緩和性
- 形状記憶性
- 形状追従性
- 低反発性
- 遅延弾性回復
- 心地よい触感

代表的な物性

	項目	試験規格	単位	物性値(23℃)	備考
軽量性	密度	—	g/cm ³	0.5	—
応力吸収性 応力緩和性	表面硬度 (シヨアA)	JIS K6253	—	66(瞬間値) ⇒24(15秒後)	測定厚さ=8mm (1mm×8枚重ね)
低反発性	反発弾性	JIS K6400	%	19	測定厚さ=7mm (1mm×7枚重ね)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

課題と対応策

柔軟性のある、心地よい触感をどのように車のものづくりに役立てることができるか

活用案

座席シート、ハンドル等のカバー材料
その他: シューズ部材、寝具、玩具、アパレル素材、保護具、サポーター、各種包装資材